

年金積立金管理運用独立行政法人
GOVERNMENT PENSION INVESTMENT FUND

2015(平成27)年度

業務概況書 会見

2016 (平成28) 年 7 月 29 日

理事長 高橋則広

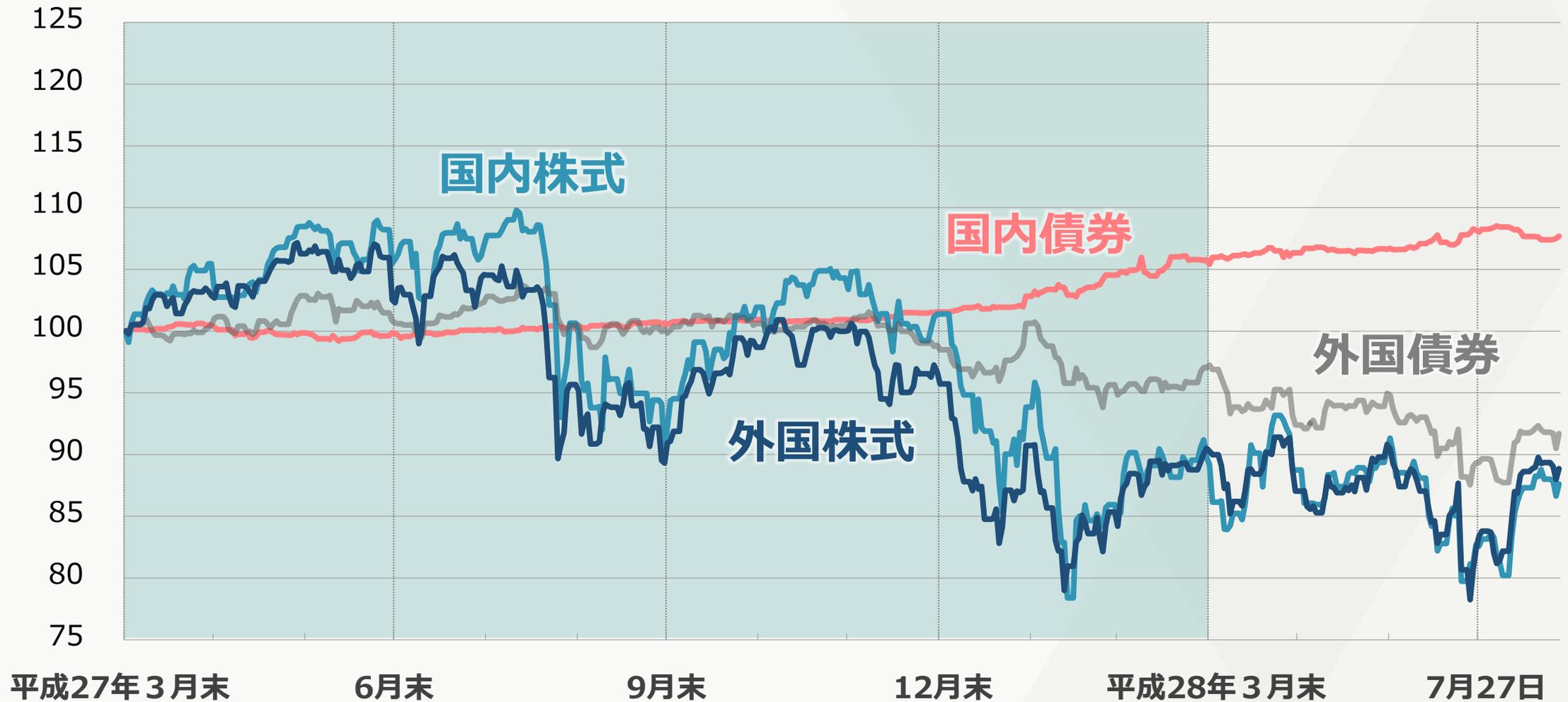




年金積立金管理運用独立行政法人
GOVERNMENT PENSION INVESTMENT FUND

2015年度 市場環境

2015年度 市場環境





年金積立金管理運用独立行政法人
GOVERNMENT PENSION INVESTMENT FUND

2015年度 運用実績

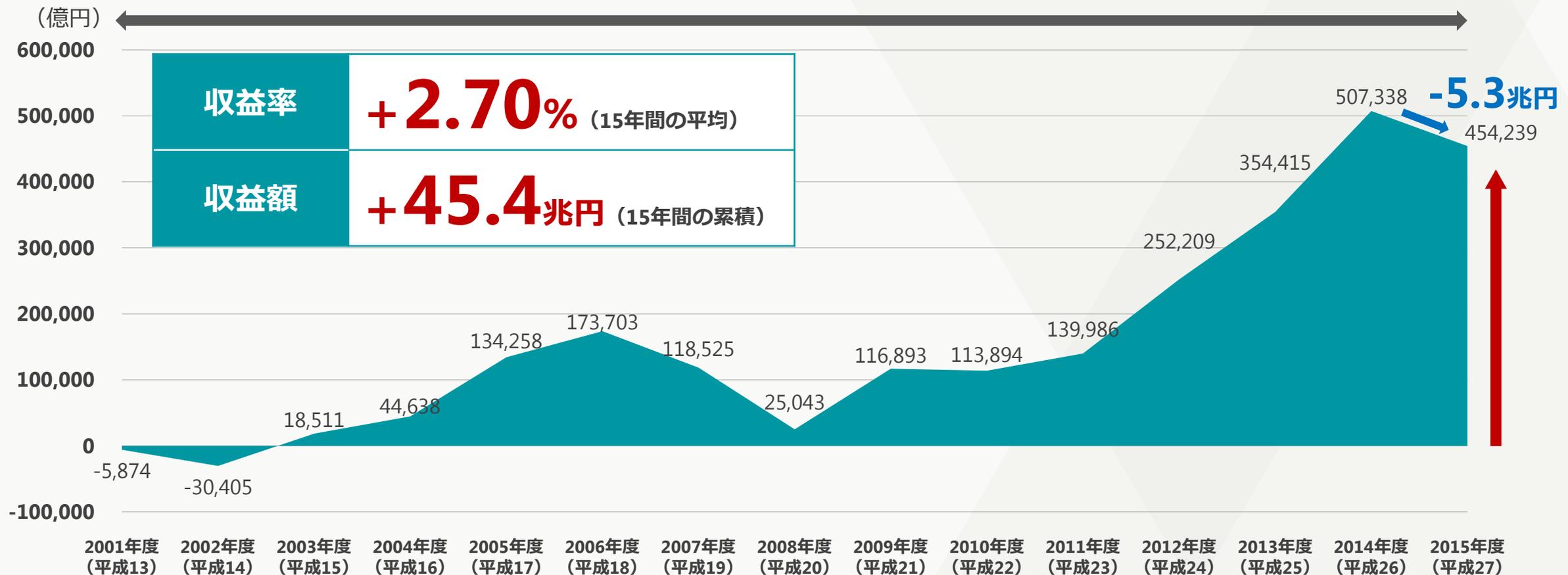
2015年度 運用実績

年金積立金は長期運用 長期の実績で評価することが必要です

	2015年度	過去15年間
収益率	- 3.81%	+ 2.70% (年平均)
収益額	- 5.3兆円	+ 45.4兆円 (累積)
運用資産額	134.7兆円 (年度末)	

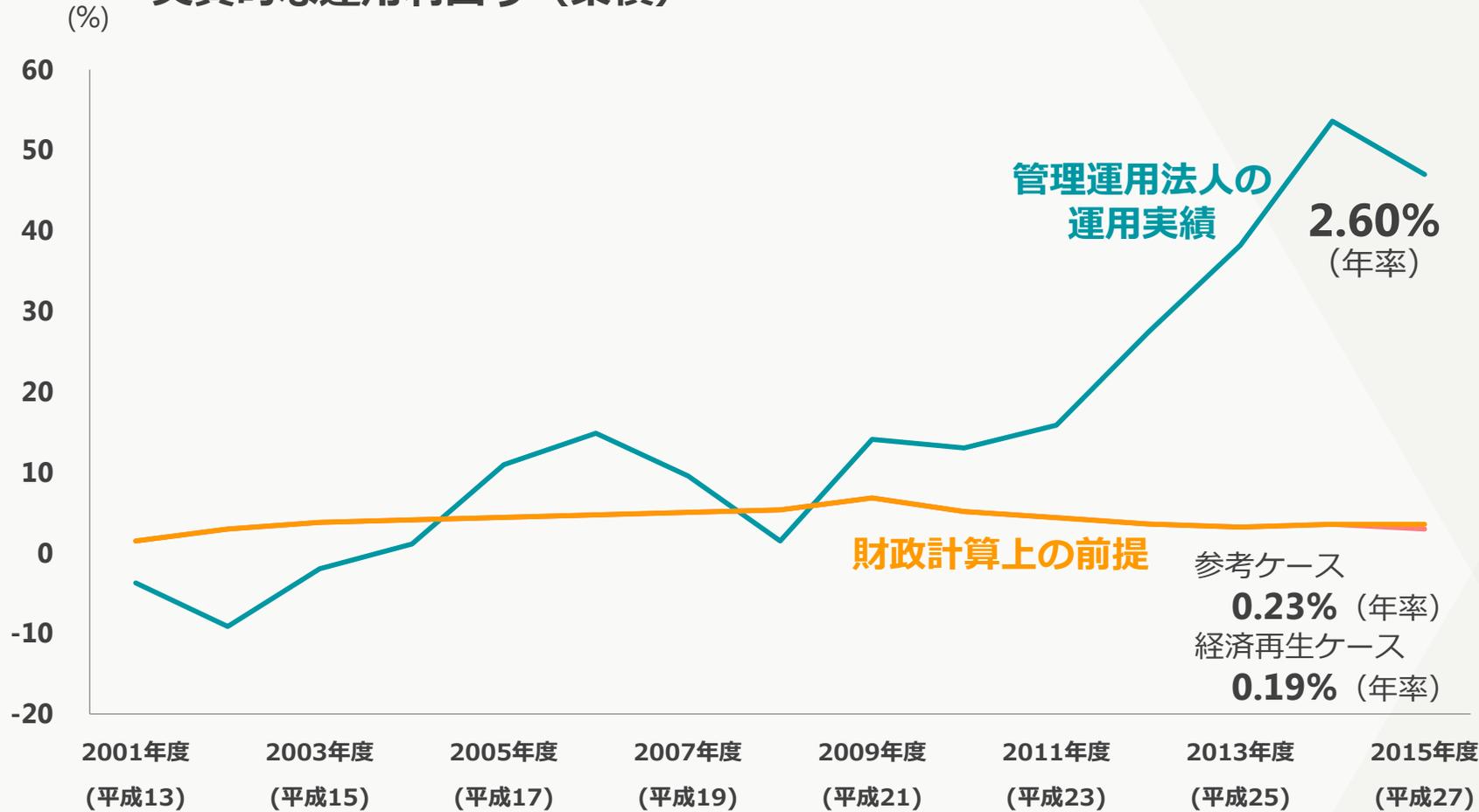
依然として高い累積収益

15年間でリーマンショックを挟んでも +45.4兆円

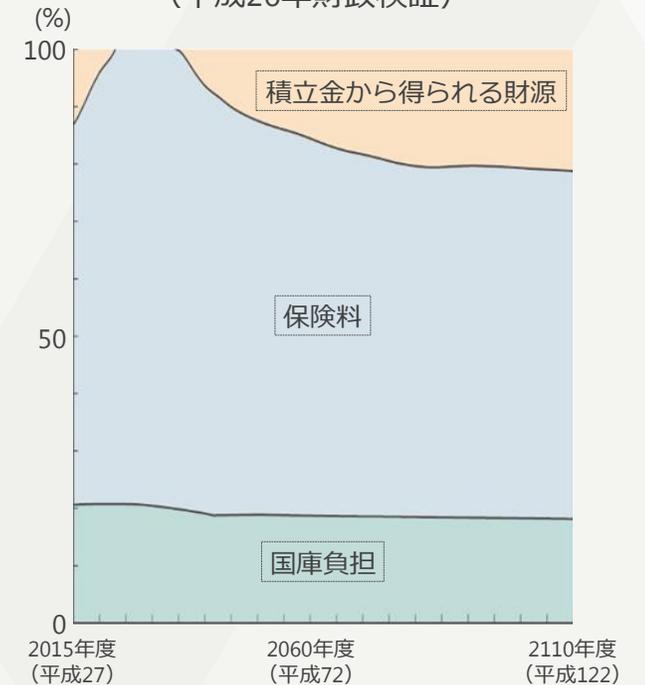


長期的には財政検証上の前提を上回る

実質的な運用利回り（累積）



厚生年金の財源の内訳（平成26年財政検証）



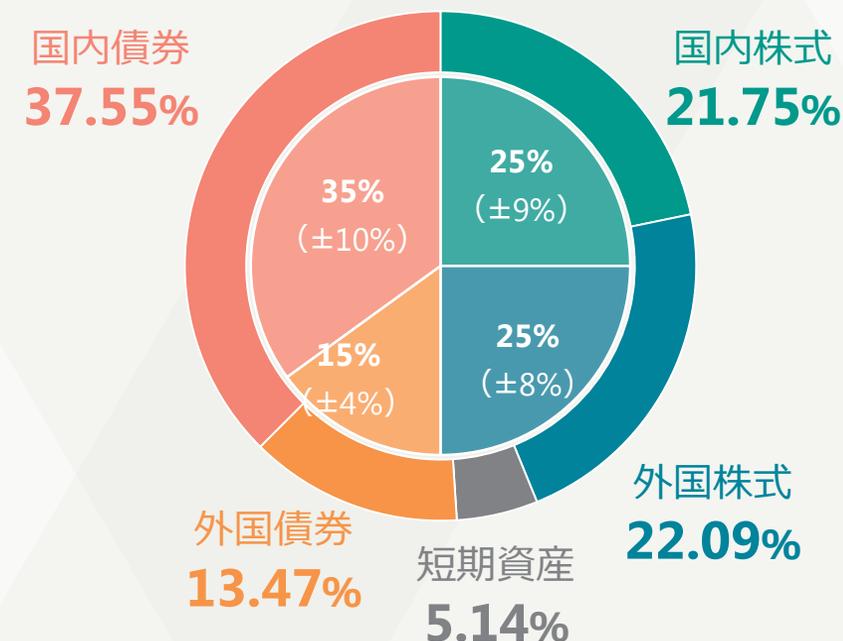
基本ポートフォリオの収益率を確保

～超過収益率0.00% 資産配分要因 +0.21%～

時間加重収益率			要因分析		
実績 ポート	基本 ポート	超過 収益率	資産配分 要因	個別資産 要因	その他 要因
-3.81%	-3.81%	0.00%	+0.21%	-0.15%	-0.06%

期末の資産構成割合

内側：基本ポートフォリオ
外側：3月末現在





年金積立金管理運用独立行政法人
GOVERNMENT PENSION INVESTMENT FUND

GPIF10年の実績

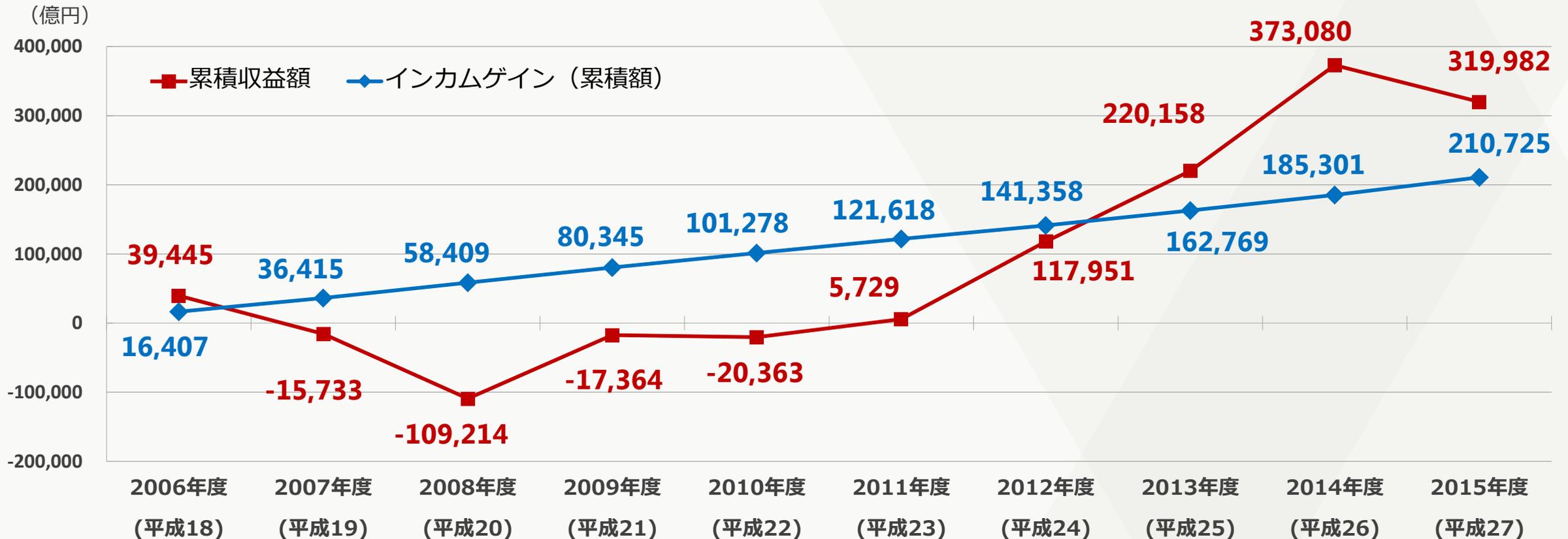
GPIF10年の実績

	2006年度～2015年度		
収益率	+ 2.68% (年平均)		
収益額	+ 32.0兆円 (累積)		
国庫納付額	+ 11.7兆円 (累積)		
運用資産額	102.9 → 134.7兆円 (+ 31.0%増)		
時間加重収益率 (年平均)	実績ポート + 2.62%	基本ポート + 2.55%	超過収益率 + 0.07%

10年間では基本ポートフォリオを上回る収益率を確保

利子・配当収入で21兆円増

～全収益の3分の2～

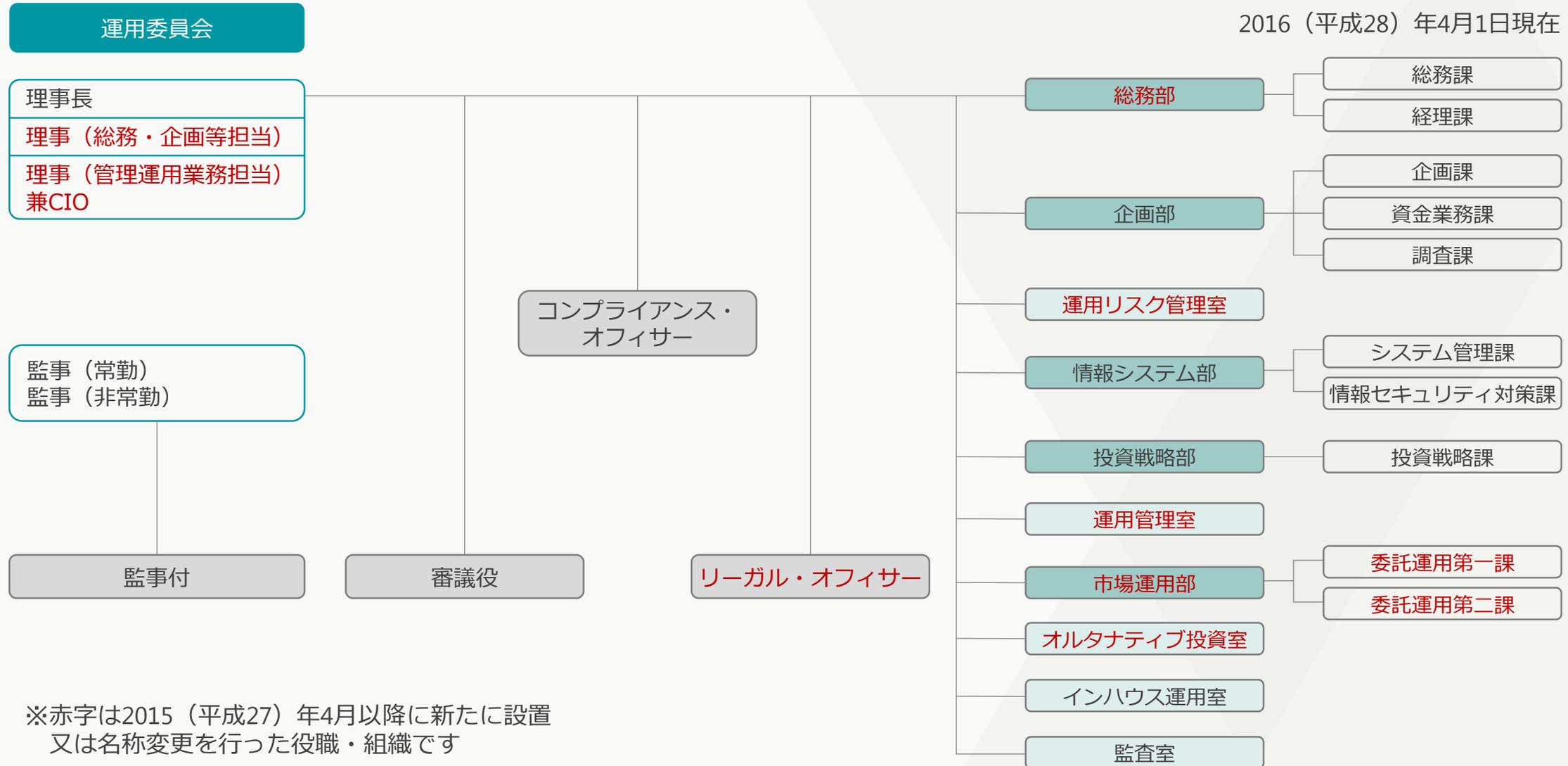


評価損益を含む累積収益額は上下に変動

長期運用の特長を活かし利子・配当収入 (インカムゲイン) で着実に利益 **+21.1兆円**

組織図

2016（平成28）年4月1日現在



※赤字は2015（平成27）年4月以降に新たに設置
又は名称変更を行った役職・組織です



年金積立金管理運用独立行政法人
GOVERNMENT PENSION INVESTMENT FUND

保有銘柄開示

保有銘柄開示

受託者責任

国民、被保険者等への
情報開示が重要

国民の関心の高まり

基本ポートフォリオの
見直し等で関心が増加

世界の年金基金の標準

保有する個別銘柄情報の
全面開示が一般的

海外の公的年金基金と同様に
保有している個別銘柄の情報を全面開示

透明性説明責任の向上

国民の信頼の向上

海外投資家等の
国内市場への
信頼の向上

GPIFの個別企業に対する評価を表しているものではありません

▶国内債券保有銘柄 発行体別（時価総額順）

No.	発行体名	時価総額（億円）
1	日本国	461,392
2	日本高速道路保有・債務返済機構	12,434
3	地方公共団体金融機構	7,911
4	住宅金融支援機構	7,062
5	地方公共団体（共同体）	5,790
6	東京都	3,821
7	東京電力ホールディングス	2,157
8	中日本高速道路	1,644
9	関西電力	1,619
10	商工組合中央金庫	1,615
計	495発行体	568,227

▶外国債券保有銘柄 発行体別（時価総額順）

No.	発行体名	時価総額（億円）
1	UNITED STATES TREASURY	65,255
2	ITALY (REPUBLIC OF)	15,681
3	FRANCE (REPUBLIC OF)	13,687
4	UNITED KINGDOM (GOVERNMENT OF)	12,910
5	GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF)	11,518
6	SPAIN (KINGDOM OF)	9,482
7	NETHERLANDS (KINGDOM OF)	4,013
8	FEDERAL NATIONAL MORTGAGE ASSOCIATION	3,726
9	BELGIUM (KINGDOM OF)	3,706
10	AUSTRALIA (COMMONWEALTH OF)	3,078
計	597発行体	181,879

▶国内株式保有銘柄（時価総額順）

No.	銘柄名	株数	時価総額（億円）
1	トヨタ自動車	182,174,000	15,499
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	1,093,260,200	8,229
3	三井住友フィナンシャルグループ	110,727,400	5,173
4	本田技研工業	129,392,700	5,079
5	ソフトバンク	68,643,900	4,805
6	日本電信電話	56,231,000	4,210
7	みずほフィナンシャルグループ	1,936,486,100	4,156
8	KDDI	142,361,400	3,911
9	ファナック	13,942,100	3,679
10	キヤノン	80,760,600	3,431
計	2,037銘柄		314,671

▶外国株式保有銘柄（時価総額順）

No.	銘柄名	株数	時価総額（億円）
1	APPLE,INC.	40,373,667	6,025
2	EXXON MOBIL CORPORATION	27,315,866	2,784
3	MICROSOFT CORPORATION	56,954,259	2,777
4	JOHNSON AND JOHNSON	19,481,993	2,350
5	NESTLE CO (REGISTERED)	25,582,857	2,319
6	WELLS FARGO COMPANY	33,617,685	2,193
7	NOVARTIS (REGISTERED)	17,089,909	2,029
8	GENERAL ELECTRIC COMPANY	64,889,119	1,948
9	JPMORGAN CHASE AND CO.	25,260,666	1,835
10	PROCTER AND GAMBLE	18,507,437	1,819
計	2,665銘柄		298,040

※全銘柄・発行体については、GPIFのHPに掲載

保有銘柄開示のスケジュール

市場への影響の検証（イベントスタディ）等を実施しながら徐々に公表までの期間を短縮

第1段階

(2016.07.29)

2015.03

2016.03

2016.07

2016.11

2017.03

2017.07

1年4か月前を開示

市場への影響の検証（イベントスタディ）等を実施

第2段階

(2016.11.25)

2015.03

2016.03

2016.07

2016.11

2017.03

2017.07

8か月前を開示

市場への影響の検証（イベントスタディ）等を実施

第3段階

(2017.07)

2015.03

2016.03

2016.07

2016.11

2017.03

2017.07

4か月前を開示

市場への影響の検証（イベントスタディ）等を実施

以降は、毎年7月に前年度末（4か月程前）時点の状況を公表



年金積立金管理運用独立行政法人
GOVERNMENT PENSION INVESTMENT FUND

スチュワードシップ推進

スチュワードシップ推進

ねらい

企業価値の向上や持続的成長を促すことで被保険者のために中長期的な投資リターンの拡大

市場のベータ向上を通じた運用収益の拡大

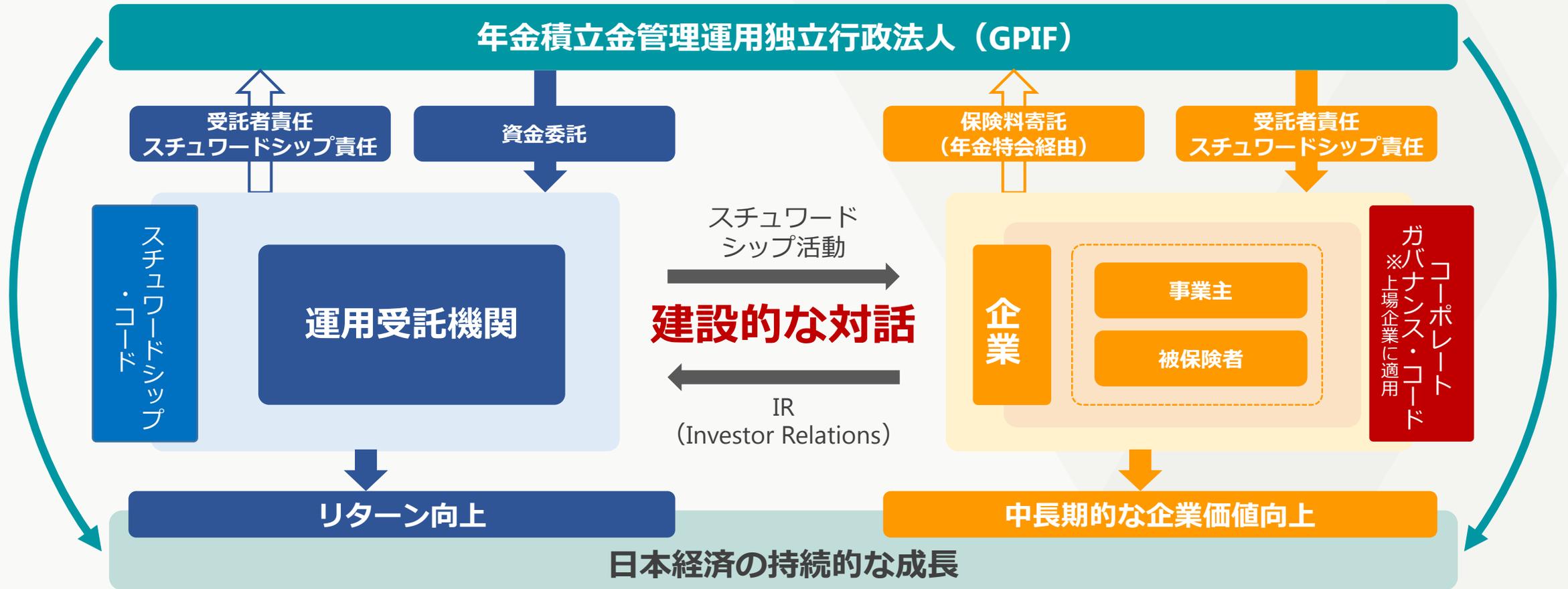
重点課題

パッシブ運用機関の
スチュワードシップ
推進

委託先運用会社との
利害の一致
(利益相反の防止)

GPIFに相応しい
スチュワードシップ
責任の果たし方

Win-Winの望ましい連鎖



投資先企業と運用受託機関の「建設的な対話」(エンゲージメント)を促進
中長期的に企業価値の高まり、リターン向上を期待

ESG指数のアイデア募集（本年7月～9月）

ねらい

ユニバーサル・オーナー（広範な資産を持つ大規模な投資家）として
負の外部性（環境、社会問題等）を最小化し長期的なリターンを最大化

長期投資家として ESGの考慮による「リスク低減効果」でリスク調整後のリターンを改善

中長期的にリスク低減効果や超過収益の獲得が
期待される指数を公募

**ESG要素を考慮した
国内株式パッシブ運用**

【ESG要素の例】

Environment（環境）

- ・地球温暖化対応
- ・エネルギー効率向上

Social（社会）

- ・女性の活躍・従業員の健康等

Governance（企業統治）

- ・取締役の構成・公正な競争等

投資原則

1

年金事業の運営の安定に資するよう、専ら被保険者の利益のため、長期的な観点から、年金財政上必要な利回りを最低限のリスクで確保することを目標とする。

2

資産、地域、時間等を分散して投資することを基本とし、短期的には市場価格の変動等はあるものの、長い投資期間を活かして、より安定的に、より効率的に収益を獲得し、併せて、年金給付に必要な流動性を確保する。

3

基本ポートフォリオを策定し、資産全体、各資産クラス、各運用受託機関等のそれぞれの段階でリスク管理を行うとともに、パッシブ運用とアクティブ運用を併用し、資産クラスごとにベンチマーク収益率(市場平均収益率)を確保しつつ、収益を生み出す投資機会の発掘に努める。

4

株式投資においては、スチュワードシップ責任を果たすような様々な活動を通じて被保険者のために中長期的な投資収益の拡大を図る。

行動規範

[1] 社会的な使命

◆ 私たちは、厚生年金と国民年金の給付の財源となる年金積立金をお預かりして管理・運用を行い、その収益を国に納めることにより、年金事業の運営の安定に貢献することを使命とします。

[2] 受託者としての責任

◆ 私たちは、年金積立金が将来の年金給付の貴重な財源となることを認識し、専ら被保険者の利益のために、慎重な専門家(ブルーデント・エキスパート)としての注意を払い、受託者としての責任を果たすことを誓います。なお、運用委員会の委員は、かかる責任を果たすにあたり、所属する機関の利益を考慮しません。

[3] 法令等の遵守と高い職業倫理の保持

◆ 私たちは、法令等と社会規範を遵守するとともに、年金積立金の管理・運用に携わる社会的な責任を自覚し、国民の疑惑や不信を招くことの無いよう、高い職業倫理を保持して行動します。

[4] 秘密保持義務の遵守と保有財産の保護

◆ 私たちは、非公表の投資方針や投資行動など業務上知り得た秘密を厳しく管理し、私的利用や不正流用をしません。
◆ 私たちは、GPIFが保有する有形・無形の財産(例えば、文書、情報、システム、ノウハウなど)を、GPIFのため有効に利用するとともに、適切に保護・管理します。

[5] 自己又は第三者の利益追求の禁止

◆ 私たちは、GPIFにおけるその職務や地位を自己(親族を含む)又は第三者の利益のために利用しません。
◆ 私たちは、GPIFに不利益を及ぼすような利得行為を行いません。

[6] 公正な取引

◆ 私たちは、国内外における公正な取引慣行を尊重し、すべての取引関係者に対して公正に接します。
◆ 私たちは、反社会的な勢力又は団体との一切の取引を行いません。

[7] 適切な情報開示

◆ 私たちは、国民の皆様に対する情報公開、広報活動の充実を図ります。
◆ 私たちは、法令等で開示が義務付けられた財務諸表等や業務概況書の信頼性と適正性を確保します。
◆ 私たちは、勤務時間内外ともに、自己の対外的な活動(出版、講演、取材対応、ソーシャルメディアの利用等)がGPIFの信用に影響を与えることを常に認識して行動します。

[8] 個人の働きと組織の発展

◆ 私たちは、自己研鑽と専門性の向上に努め、コミュニケーションとチームワークを大切にし、一人ひとりが個性と能力を発揮して、GPIFの使命達成のために努力します。
◆ 私たちは、良好な職場環境を維持するために、一人ひとりの個性、能力、価値観、健康、プライバシー等を尊重するとともに、一切の差別行為及びハラスメント行為を行いません。

[9] 違法行為、不正行為の報告

◆ 私たちは、役員等について法令等の違反行為や不正行為(これらが生じるおそれのある場合を含みます。)を発見したときは、内部通報制度の利用も含め、GPIFに対して迅速に報告します。
◆ 私たちは、上記の報告があったときは、内部規程に基づき、必要な調査を実施し、その是正や再発防止のための措置を講じます。